

共鳴ダイアログ in 奈良

経営者の実践から紐解く

自ら考え動く従業員が育つ組織づくりを考えるトークイベント
～チームに“対話”と“内省”を生む経営者のあり方～

登壇者

一般社団法人無限

石田 慶子



「主体性や熱意を持った社員が少ない」「マネジメント力のある管理職が育たない」「次世代を担う20代の離職率

が高い」そんな悩みを持つ経営者の声をよくききます。変化の激しい時代の到来とともに、企業も否応なしに変化を迫られています。複雑な課題に取り組むには、一部の優秀な社員の方ではなく、チーム全体の集合知によるアクションが必要不可欠です。しかし、多様性や持続可能性が重視される現代社会においてトップダウンのマネジメントではチーム作りに限界があり、何より社員がついてきません。経営者はこの課題にどのように向き合うべきなのでしょう？

「主体性や熱意を持った社員が少ない」「マネジメント力のある管理職が育たない」「次世代を担う20代の離職率が高い」そんな悩みを持つ経営者の声をよくききます。変化の激しい時代の到来とともに、企業も否応なしに変化を迫られています。複雑な課題に取り組むには、一部の優秀な社員の方ではなく、チーム全体の集合知によるアクションが必要不可欠です。しかし、多様性や持続可能性が重視される現代社会において、何より社員がついてきません。経営者はこの課題にどのように向き合うべきなのでしょう？

2024.5.22 (水) 15:30-17:30
Open 15:15

会場 | 創業支援施設 BONCHI

住所：奈良県奈良市橋本町3-1

一般社団法人ポリネ・代表理事

荷川取 佳樹



対象

経営者・役員、管理職、人事労務担当者、
チームビルディングや組織開発に関心のある方

- 主催／奈良県立大学地域創造研究センター仕事文化研究ユニット（研究代表：玉城毅）
- 共催／株式会社 BowL、一般社団法人ポリネ
- 後援／奈良市、一般社団法人無限、一般社団法人 TOMOSU

共鳴ダイアログ

in 奈良



本イベントでは課題に向き合い続ける2人のソーシャルベンチャー経営者が登壇します。奈良と沖縄でそれぞれ活動する2人の経営者に共通するのは、社長としての権限を限界まで現場社員に委譲したことです。社員を信頼し対話と内省の機会をつくることで、社員ひとりひとりが自ら考え、主体的に動く自主経営型のチーム経営を体現しています。登壇者が織りなす共鳴的な対話を通して、これからの時代の経営者のあり方を考えます。

登壇者プロフィール



一般社団法人無限

石田 慶子

1973年山口県生まれ。結婚を機に奈良県生駒市に拠点を移す。2012年に一般社団法人無限を立ち上げ、生駒市で第1号の放課後等デイサービス事業を仲間と共に開始した。まだ療育が広まっていなかったことで、学校や地域で障がい特性への理解が得られず苦しんでいた親子に向けて、ABA療育などを取り入れた療育支援プログラムに力を注いだ。2019年には障害を持つ大人の方に向けた就労継続B型支援事業を立ち上げ、地域コミュニティへの参加にもチャレンジ。まほうの다가しやチロル堂の新しい子どもの居場所の仕組みづくりが評価され、2022年グッドデザイン大賞を受賞した。一方ではピラミッド型組織で運営してきた法人の在り方に限界を感じ、2020年からホラクラシー組織を導入。自己組織化組織を目指しコンサルチームと共に組織改革に取り組む。現在も誰もが自分らしく在り続けられ、力を発揮できるチーム運営や組織の在り方を探求している。

1967年沖縄県生まれ。大学卒業後、22年間保険会社でマネジメント職として働いた後、2013年沖縄では民間初となるうつ病の社会復帰支援事業（リワーク）を展開する株式会社 Bowl を設立し、これまで約500名余の休職者の復職支援を手掛けてきた。2016年には、企業や官公庁に向いて階層毎のメンタルヘルスマネジメント研修を提供したり、高ストレス組織への介入支援を手掛けるなど予防支援にも力を入れる。自分らしく生き、リーダーシップが発揮できるような組織を体現するため、管理職をおかず従業員自ら考え動く自主経営型組織を実践し、コロナ禍においても高収益を達成した。この経験を社会へ受粉するため2020年に一般社団法人ポリネを立ち上げ、新時代の組織のあり方を探求し続けている。



一般社団法人ポリネ・代表理事

荷川取 佳樹



参加無料

お申込みはコチラ

右記のQRコードにアクセスし
必要事項をご入力ください。

